

●教育・保育理念

『善隣のこころ』

“いつでも どこでも そして だれにでも われ等 善き隣人たらん”

●教育・保育の方針 『三つのゼン』

安全：自分の身を守る安全意識を育てる

子どもの思いを受け止めることで信頼感や自己肯定感を育む

自然：自然との出会いにより自然に親しみ、自然を大切にする心を育てる

子どもたち自身の自然(個性)も大切にする

積善：人に対する信頼感や思いやりの気持ちを育む

道徳性や規範意識を育む

★中長期計画

●教育及び保育の目標

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

- ・健康で心豊かな子どもを育てる
- ・感性豊かな子どもを育てる
- ・思いやりのある優しい子どもを育てる
- ・自分で考え、進んで行動できる子どもを育てる

●施設整備計画

園庭整備 びしょぬれ山など

●人事計画目標

- ・職員育成・評価シートをもとに、キャリアパスフレームに基づいた意識の向上を図る
- ・キャリアアップ研修等の計画的な受講を勧め、一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・積極的な実習生の受け入れとアルバイト学生の雇用をし、細やかな対応や指導に努め、新規採用につなげる

●収支計画

- ・地域の実情に合わせてそれに見合った利用定員を考えていく。
- ・無理、無駄なく計画的な予算執行に留意する。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子どもの安心と安全を第一に、受容的・応答的な関わりや対話を大切にし、教育・保育の充実を図る。
- ・日常的な異年齢の関わりの中で全職員で子ども一人ひとりを見ることを意識し、職員間の信頼関係を大事にしていく。特に異年齢での行事については一人ひとりの子どもの主体性を大切にして進めていく。

●食育計画

- ・野菜の栽培や調理等、食に関わる体験を積極的に取り入れ、食や食材への興味や関心を育む。
- ・保育者と連携し、子どもの食事状況や体調に配慮しながら安心して食事ができる環境作りに努める。

●保健衛生計画

- ・園児の健康状態や発育及び発達の状態の把握、一人一人の健康の保持及び増進を進める。
- ・疾病や感染症等への対応（体調不良児、感染症対策、個別ケア等）を家庭と協力・連携しながら徹底する。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先し、かつ保護者の自己決定や自己選択を尊重するように努める。
- ・園と保護者が協力して、子どもの育ちを支えていく関係を構築していく。
- ・支援の必要な親子の把握に努め、地域の子育て支援の充実を図る。（育児相談、情報誌発行、子育て親子の交流の場の提供など）

●地域との連携

- ・地域との交流活動や地域の環境資源を取り入れるとともに地域文化の継承（仏御前、剣舞）を大切にする。
- ・園だよりや情報誌等を配布し、園の取り組みを積極的に発信していく。
- ・福祉、食育、環境、防災その他で地域の各種団体との連携を図る。

●小学校との連携・接続

- ・年長児の小学校生活への不安をやわらげ期待を持てるように小学校との交流を図る。
- ・小学校と園との関係性を構築する。
- ・園長と小学校長間の情報交換を図る他、園と小学校が互いに関係者評価者となり、自己評価結果を通して互いの教育・保育に理解を深める。